

4月8日合同委員会プレゼンテーション資料

インターセプトブラッドシステム

Intercept Blood System

(アモトサレンによる病原体不活化システム)

2008年4月8日

バイオワン株式会社

下坂皓洋

Baxter (Fenwal)-Cerus-バイオワン

ソラレン化合物の開発はCerusが行いその後の医療用機器としての開発、前臨床、および臨床開発はBaxterが行った。Baxterはこの開発に500億円以上投資している。しかしBaxterの事業方針の変更に伴い開発、商業化の権利をCerusに返還した。その後血液関連部門はFenwalとしてBaxterから分離した。Cerusはアジアを除く国々で活動している。

バイオワンはBaxter-Cerusからアジアでの独占的製造販売権を導入している。現在はCerus-Fenwalと協力してアジアでの普及を図っている。

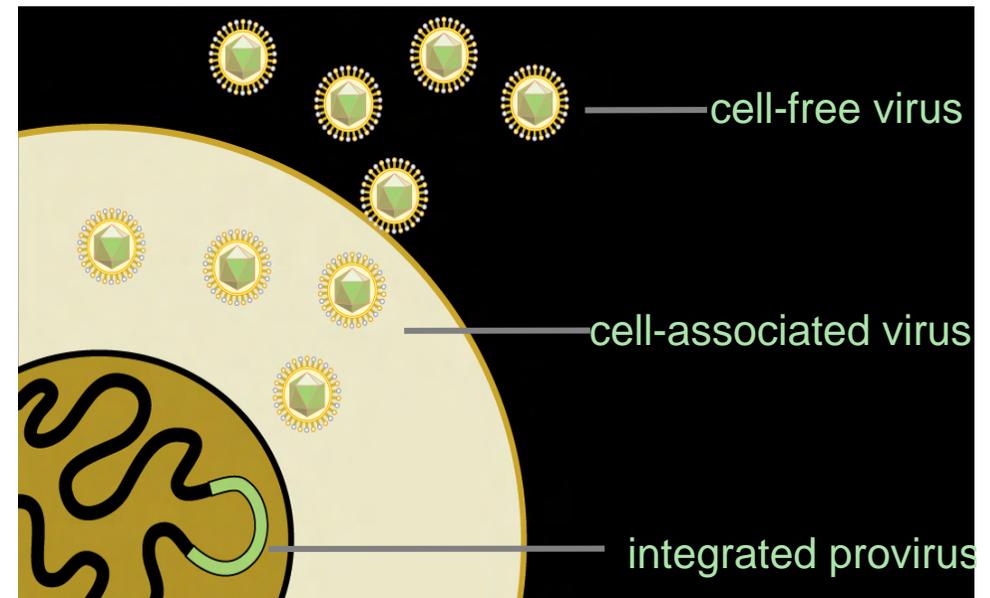
インターセプトブラッドシステム

1. インターセプトブラッドシステム(IBS)の原理
2. IBSの不活化能力
3. IBSの臨床試験及びPMS
4. 世界各国における導入状況

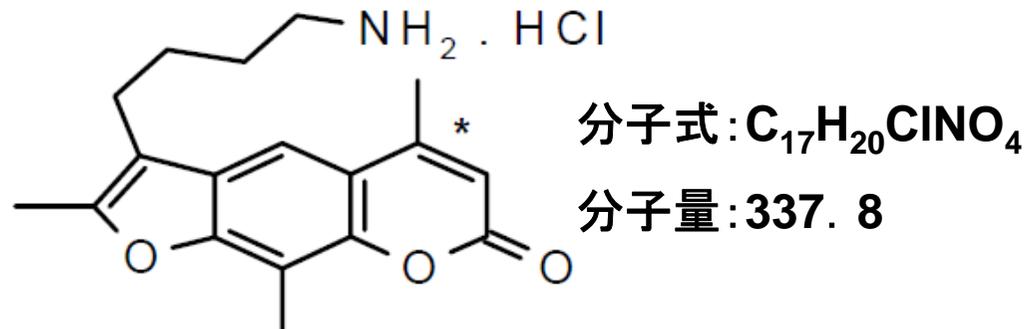
アモトサレンによる不活化の特徴

– アモトサレン+ UVA

- Cell-Free virusのみならず、Cell-associate virus、integrated provirusも不活化可能である
- 細菌、原虫、白血球も不活化可能である
- 高い不活化能力を有する
- 血小板、血漿への影響が少ない
- 安全性が高い



アモトサレン: S-59



1. ソラレン化合物は核酸を標的とする化合物の代表であり、食品中にも含まれている。
-レモン、セロリ、イチジク、ミツ葉、パセリ等々
2. ソラレン化合物は乾癬治療用の経口医薬品としても承認されている。
-オクソラレン錠: メトキサレン(通称8-MOP)
3. IBSに使用するソラレン化合物のスクリーニングにおいて以下の基準が用いられた。
 - ✓ 8-MOPより変異原性が低いこと。
 - ✓ ウイルスの不活化能力が高いこと。
 - ✓ *In vitro*の血小板機能への影響が低いこと。